

## 慶應腎臓内分泌代謝内科 林香教授の特別講演を開催

2024年2月17日、当院の学術講演会に慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科の林香教授がご登壇なさいました。「超高齢社会における慢性腎臓病治療の現在と未来」というテーマで、前半は最新の腎臓病学のエビデンスやガイドラインについて、コメディカルにもわかるように明解な、そして流れるような名講演でした。

後半では、林先生の研究領域であるエピゲノムについて自身の独創的なデータに関する講演でした。DNAの塩基配列をゲノムと呼びますが、そのゲノムに加えられた後天的修飾がエピゲノムです。主にDNAのメチル化やヒドロキシメチル化、ヒストンタンパク質の修飾（メチル化、アセチル化、リン酸化など）があります。エピゲノムは老化で加速しますが、心血管病や癌などでも報告があります。林先生は慢性腎臓病や糖尿病領域のエピゲノム研究のパイオニアであり、新たな分野に挑戦し続けるその足跡は、とてもエキサイティングで魅力的です。

ハイブリッド講演でしたが、70名を超える参加者があり大盛況となりました。

